

問 福田教育行政に期待する

答 精進をしながら取り組んで行きたい

田淵 基次 議員

問 一般行政畑より教育行政畑へ就任された教育長に大きく期待を致します。本来聖域であるべき教育予算も厳しい財政状況の中、又施設耐震化事業、少子化対策等で大変な時期であります。今議会初日、市長より宍粟市の教育改革をはじめ教育環境の適正化等、多くの課題に対応していただくのに最適任者であると大きく期待をよせての教育委員任命提案でありました。宍粟の教育再生に頑張ってください。

現状の幼・小・中の児童数を見る時、今後の学校のあり方について見過ごすことは出来ません。

教育長

日本の教育そのものが大きく変化する中で将来を託す子供達にとって

教育はどうあるべきか小規模校等のあり方も検討しながら考えて行きたい。昨年、教育委員会より市長に出された規模適正にむけた具申につき市長の下で『あり方検討会議』を立ちあげて議論されている。

音水湖カヌーによる地域作り事業について。市内小中学校教員の長期病欠、指導力資質について。校園遊具の安全点検。給食費の滞納について等、質しました。



小学生の授業

問 一次救急医療の設置を問う

答 医師会の協力を得て取り組む

西川 省一 議員

問 病院の医師不足の対策について伺う。

市長

宍粟総合病院の機能は市民の方々のために総合的な医療を確保することであるので、大学病院や県へ要請。また、インターネットや情報誌等で医師確保に全力で取り組んでいる。

問 宍粟総合病院は救急病院となっており、病院の医師

による休日の当直や夜勤等の勤務で、苛酷な勤務実態となり医師確保の障害となっている。こうした病院医師の過重労働を軽減するため、公明・市民の会より提言していた、宍粟市医師会の御協力による一次救急の開設は具体化しているか。

副市長

この2月に市・病院・医師会で地域医療連絡会を開き、総合病院の医師不足による過重労働に対して宍粟市医師会に、一次救急体制の御協力をお願いしたところである。医師会としては会員が少ないとか専門診療科がそれぞれ違うため、診療体制等課題があるが基本的には御理解を頂いており、10月より宍粟市消防本部の一室での開設を、概ね了解頂いている。



一次救急医療の候補地として検討されている消防本部